

令和7年度 新川地区木材情報交換会を開催

県では、令和5年度に富山県ウッド・チェンジ協議会を設置し、先進的な取り組みや木材利用に関する情報共有などを行うことによって、民間事業者の方が木材を利用しやすい環境を創り出し、木材利用の拡大を目指すこととしています。

新川地区においては、平成29年度から、地域で生産された木材を、地元で加工・流通・利用を進めるため、素材生産業者、製材業者、関係行政機関で情報を共有し、現状と問題点について話し合う「木材情報交換会」を立ち上げ、これまでに様々な意見交換を行いながら、お互いの連携が高まっています。

この度、令和7年度の情報交換会を開催しましたので、その概要を報告します。

【概要】

日 時：令和7年10月22日（水）13：30～16：00

場 所：YKKパッシブタウン

内 容：新川地区における木造建築物の情報提供及び意見交換

YKK パッシブタウン 第1・2・3・5 街区視察

参加者：16名

主な意見：新川地区での公共建築物において、積極的な木材の使用を要望する。

情報共有を引き続きしていきたい。

第5街区は、新川地区の木材が沢山使用されており、うれしい。



木材情報交換会の様子
@STUBE



敷地内にあったケヤキ材がふんだんに
活用されている @コワーキングスペース



第5街区で使用された木材の87%が県産材
@P2Gallery



施設見学の状況